

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
編集者：代表幹事 高橋 賢一  
連絡先：市民活動支援センター  
尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
(渋川福祉センター内)  
TEL 0561-51-2878



2017/10/08

木育による地域づくり、入づくり。  
絶滅危惧種 フタバアオイをイメージして  
パズルを みんなでつくりました。

平成二十九年十月八日(日)  
渋川福祉センター 午後一時より



2017/10/08

教育としての  
木育は、学校  
教育として生  
涯学習体系  
として位置づ  
けられるもので  
ある。その責務  
の主体は学校  
の教員にもちろ  
ん社会教育施  
設やNPO等  
の市民団体が  
担う。  
森林や木材利  
用について正しく  
認識し、適切な  
管理を進める  
ことのできる市  
民の育成は喫  
緊の課題であ  
り

一つの木育の  
適切な実施  
と連携は、  
森林資源を  
使うことの誤  
解を正し、さら  
に使いたいと  
思ふ心持を  
育める。  
そのことが地球  
環境、森林、  
山村の環境を  
改善する。  
このまにまに  
ていへば、木育  
は、持続可能  
な社会の実現  
に向け、大きな  
可能性を持つ  
ことになり得る。



2017/10/08

学校教育のさらなる  
長期的視点に立  
たれた木育の普及を  
市民講座やワーク  
ショップ等の短期的  
一過性の取り組み  
を含めて、  
さまざまなメン  
ネルも利用した  
学習の機会をも  
増加させていく事  
がある。

家庭、地域、社会  
も木質化して、  
ことばり、人間性  
の回復として、林  
業の活性化を目  
指す公益性をも  
つた活動である。  
木のおもちゃや木  
材を使ったもの  
活動が子どもの  
育成に大きな  
関



2017/10/08

尾張旭市市民活動促進助成事業



2017/10/08

あり、意味のあるものであると受け止める。木に  
囲まれた環境での学び、木育を支えることは、  
長期的な視点で見れば本質的な活動として  
重要である。



2017/10/08